

## 調査結果の骨子

### 1 暮らし向き

テーマ	回答が多かった項目（内の数字は順位）及び特徴的な項目（下線部が特徴的な点、+ は前回比）
昨年に比べての暮らし向き	悪くなった(50.7% <u>+2.5ポイント</u> )( <u>自営業68.3%</u> )
暮らし向きが「悪くなった」理由	収入が減った（ 54.6% <u>+13.5ポイント</u> ） （八幡浜・大洲60.3% <u>+25.2ポイント</u> ）（農林漁業 <u>+27.8ポイント</u> ）
具体的な項目毎の暮らし向きの変化	食生活や衣服など全10項目について項目毎に「良くなった」か「悪くなった」かを質問 貯蓄：「悪くなった」62.1%（ <u>+7.9ポイント</u> ） 所得・収入：「悪くなった」56.8%（ <u>+8.5ポイント</u> ）
暮らし向きの程度	中(77.9%)〔内訳： <u>中の下( 36.0% +1.0ポイント)</u> <u>中の中( 34.2% 3.2ポイント)</u> 〕 下(16.0%)( <u>宇和島24.6%</u> )( <u>60歳代23.1%</u> )
資産の程度	中(62.2%) 下(27.7% <u>+4.8ポイント</u> )
普段の生活における時間的なゆとりの有無	ゆとりがある(49.5%) ゆとりがない(48.2%)
現在の暮らしに対する満足度	満足(58.4% <u>微減傾向</u> ) 不満(39.7% <u>微増傾向</u> )
日常生活での悩みや不安	老後の生活設計について(60.1%)( <u>50歳代76.7%</u> ) 自分の生活上の問題(14.7%)( <u>20歳代52.8%</u> ) 将来の生活や健康、現在の生活に関する項目が増加傾向
生活の中で不足しているもの	収入(49.5% <u>+6.3ポイント</u> ) 特にない(16.4% <u>3.5ポイント</u> )
自由時間と収入に対する考え方	自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い(38.4%) 自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい(37.2%) ( <u>40歳代48.8%</u> <u>+6.7ポイント</u> )
日常生活で充実感を感じる時	家族団らんの時(23.5%)
暮らしの先行き観	悪くなっていく(43.7% <u>+2.7ポイント</u> ) ( <u>50歳代59.1%</u> <u>+8.3ポイント</u> <u>60歳代49.2%</u> )
改善したい暮らし向き（今後の暮らしで力を入れたいことがら）	貯蓄(38.2% <u>+3.5ポイント</u> )( <u>20歳代59.3%</u> <u>+11.5ポイント</u> ) 旅行・レジャー・余暇生活(16.5%)( <u>60歳代28.8%</u> ) 食生活(12.5%)( <u>70歳以上29.4%</u> )
今後の暮らしに対する考え方	心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい(24.5%) まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい(21.6%)
ゆとり派が重きをおきたい内容	健康を大切にする(39.3%)
物質派が重きをおきたい内容	広くて設備の整った家に住む(28.0%)

## 2 広報・広聴

テーマ	回答が多かった項目（内の数字は順位）及び特徴的な項目（下線部が特徴的な点、+ は前回比）
県の広報活動の周知度（知っているもの）	県広報紙（ 55.7% ） テレビ広報番組（ 51.0% ） どれも知らなかった（ 22.6% <u>+4.6ポイント</u> ）
テレビ広報番組の視聴経験	見たことがない（59.2% <u>+6.8ポイント</u> ） 見たことがある（40.8%）
テレビ広報番組の感想	番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった（48.9%）
テレビ広報番組を見たことがない理由	放送されていることを知らなかった （63.1%）（ <u>70歳以上78.4% +18.1ポイント</u> ）
ラジオ広報番組の聴取経験	どれも聞いたことがない（86.7%）
ラジオ広報番組の感想	番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった（41.9% <u>+5.6ポイント</u> ）
ラジオ広報番組を聞いたことがない理由	放送されていることを知らなかった（56.2%） （ <u>70歳以上70.3% +9.5ポイント</u> ）
「さわやか愛媛」の周知度	知っていた（59.4% <u>9.0ポイント</u> ）（ <u>20歳代26.8%</u> ）
「さわやか愛媛」をどの程度読んでいるか	興味のあるところを読んでいる（52.4%）
「さわやか愛媛」の感想	紙面は見やすく、情報量も適当である（52.3% <u>+3.7ポイント</u> ）
「さわやか愛媛」に取り上げるテーマの希望	福祉、医療に関すること（ 61.9% ） 県の行事・イベント・施設の紹介（ 56.4% ） 消費生活や暮らしに関すること（ 51.2% ）
県政情報の情報源（情報を得る方法）	テレビ（ 59.4% <u>+5.9ポイント</u> ） 新聞（ 52.8% ）（ <u>40歳代以上50%超 30歳代以下35%程度</u> ） 県のホームページ（ 4.9% ）（ <u>40歳代以下8%超</u> ）
今後の広報活動の取り組み	県の広報番組の充実（ 61.9% ） 県のホームページの充実（ 10.0% ）（ <u>20歳代20.8%</u> ）
知りたいと思う県政情報	県がこれから進めていこうと計画している仕事やその内容（ 32.8% ） 新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介（ 29.4% ）
県民の声を県政に反映させる手段	県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する（33.4%）
県民の声の伝達方法	県に電話をかける（ 25.1% ） 市町役場を通じる（ 15.4% ）（ <u>宇摩36.7%</u> ） 県庁に電子メールを送る（ 5.5% ）（ <u>40歳代以下 10%前後</u> ）
県政出前講座の周知度	知らなかった（92.4%）
県政出前講座を利用したいかどうか	利用したいとは思わない（25.1%） 利用したい（17.3%）（ <u>20歳代6.5%</u> ）
県政出前講座を利用したいと思わない理由	利用する時間がないから（ 31.0% ）（ <u>30歳代44.3% 40歳代45.7%</u> ） 難しそうなイメージがある（ 18.3% ）（ <u>20歳代30.0% 70歳以上26.9%</u> ）

### 3 愛媛県のイメージ

テーマ	回答が多かった項目（内の数字は順位）及び特徴的な項目（下線部が特徴的な点、+ は前回比）
現在の愛媛県のイメージ	水と緑が多く、自然環境に恵まれている（77.1%） 不便である（26.3%）（ <u>八幡浜・大洲40.1%</u> <u>宇和島48.1%</u> ） 保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる（14.2%） （ <u>八幡浜・大洲9.2%</u> <u>宇摩6.6%</u> ）
今後の愛媛県のあるべき姿のイメージ	水と緑が多く、自然環境に恵まれている（55.5% <u>+7.1ポイント</u> ） 保健や福祉、医療環境が整っていて安心できる（52.5%） （ <u>八幡浜・大洲60.4%</u> <u>+11.7ポイント</u> ）

### 4 県政への要望

テーマ	回答が多かった項目（内の数字は順位）及び特徴的な項目（下線部が特徴的な点、+ は前回比）
産業面	雇用対策（42.3%）（ <u>40歳代50.7%</u> <u>+21.6ポイント</u> ） （ <u>新居浜・西条47.6%</u> <u>宇摩+10.8ポイント</u> <u>今治+12.5ポイント</u> ）
生活環境面	医療、保健衛生機能の拡充（26.7%） （ <u>50歳代33.9%</u> <u>+9.4ポイント</u> ）（ <u>八幡浜・大洲45.6%</u> ） 子育て支援対策（14.7%） （ <u>20歳代27.9%</u> <u>30歳代39.6%</u> <u>40歳代19.6%</u> ）（ <u>宇摩25.6%</u> ）
教育面	学校教育の充実（31.9%）

### 5 特定課題

テーマ	回答が多かった項目（内の数字は順位）及び特徴的な項目（下線部が特徴的な点）	
今後の本県交通のあり方	公共交通の必要性	必要である（83.1%）
	公共交通への財政的な支援の必要性	財政的な支援はやむを得ない（55.6%） 積極的に財政的な支援を行うべきである（23.2%）
	公共交通利用のための改善点	運賃の低減、割引サービスなどの実施（54.2%）
	今後の自家用車と公共交通のあり方	自家用車利用の増加を抑制し、公共交通を維持していく必要がある：公共交通維持派（52.2%） 自家用車利用が増加し、公共交通が縮小するのはやむを得ない：自家用車派（41.6%） <u>今治、松山では、公共交通維持派が大きく上回っている</u> <u>宇摩では、自家用車派が大きく上回っている</u>

テーマ		回答が多かった項目（内の数字は順位）及び特徴的な項目（下線部が特徴的な点）
ボランティア活動	ボランティアの参加状況	参加したことがない（57.8%） （30歳代70.2%）（宇摩、松山60%超）
	ボランティア活動活性化への取組み	気軽にボランティア活動が始められるようなきっかけづくり （54.1%）
	ボランティアキャンペーンへの参加	参加するつもりはない（59.7%）（40歳代以下60%超）
住宅用火災警報器	設置状況	設置していない（62.5%） （50歳代68.2% 70歳以上67.1%）（宇摩73.4%）
	設置方法	自ら設置した（36.8%）
	設置していない理由	義務設置まで猶予がある（31.1%）
レジ袋削減	取組状況（レジ袋の辞退状況）	時々辞退している（31.5%） 毎回辞退している（9.8%） （新居浜・西条18.7% 宇摩2.5%）
	レジ袋有料化に対する考え	賛成である（39.8%） 反対である（24.8%）
生物多様性の保全	生物多様性という言葉の認知度	知らない（61.0%） （女性66.8%）（20歳代68.3% 30歳代76.2%）
	生物多様性保全のための取組み	学校教育や社会教育など様々な場での野生動植物の多様性に関する環境教育の推進（38.1%）
臓器提供意思表示カード等普及啓発	意思表示カード等の認知度	知っているが、所持していない（65.3%） 所持している（20.8%） （60歳代11.8% 70歳以上5.6%）（勤め人33.4%）
	家族が臓器提供の意思表示をしている場合、その意思に対する考え	尊重する及びたぶん尊重する（74.5%） （男性78.7%）（50歳代以下80%程度）
医薬品の安心利用	医薬品の選択	どちらでもよい（医師等の判断に任せる）（36.3%） ジェネリック医薬品を希望する（28.1%） （男性34.5%）（70歳以上16.2%）（宇摩11.7%）
	医薬品の選択の際に重視すること	医師、薬剤師の勧めがあること（79.1%）
致知問題	拉致問題への関心度	非常に関心がある及び関心がある（82.0%）
	拉致問題啓発活動の認知度	街頭啓発（署名や募金活動含む）（64.2%） 知らない（16.8%）（30歳代以下25%超）